



在カンボジア日本国大使館  
～在留邦人の皆様へ～

平成25年8月5日

**カンボジア:国民議会選挙終了に伴う注意喚起(第10報)**

- 1 選挙終了後現在までの間に判明している治安情勢等について、以下のとおりお知らせします。
  - (1) 選挙当日はプノンペン市内のストウン・ミエンチャイ地区の投票所において、自分の名前が選挙人名簿に記載されていないことを理由として、暴れた数百名の暴徒に対して警察官が上空に向けて威嚇射撃を行い、その後、暴徒が憲兵隊の車両に投石や放火をする事件が発生しましたが、それ以降現在までの間、当局から、選挙に関係する事件はカンボジア国内において発生したとの報告はありません。
  - (2) 7月31日(水)、フンセン首相がカンボジア国内の安全を守るといった内容の演説を国民に向けて行い、また、救国党のサム・ランシー党首が、大規模デモは最終手段であり、非暴力を支持者に訴えていることから、現在の国内の治安情勢はとりあえず平穏です。
  - (3) 7月31日から、毎日、午前8時30分から午前11時30分までの間、トゥールコークにある救国党本部(旧人権党本部)＜場所：別添＞で、救国党が選挙の不正行為に対する集会を行っておりますが、現在のところは平穏に行われております。  
また、8月6日(火)、午後4時より選挙の際の支持者との対話と御礼という名目で、救国党のサム・ランシー党首及びケム・ソカー副党首が、プノンペン市内の民主の広場(英語ではFreedom Parkと言われている)＜場所：別添＞において支持者を集め集会を行うとしています。  
上記集会が行われる救国党本部、自由広場、及びその周辺では、各種規制が行われる可能性や、それに伴う不測の事態が起こる可能性もあることから、在留邦人の皆様におかれましては、できる限り集会場所及び周辺には近付かないよう努めてください。
  - (4) 8月10日(土)にNEC(選挙管理委員会)から暫定の選挙結果が出される予定であり、それを踏まえて救国党支持者によるデモ等の活動が行われる可能性もありますので、ご注意願います。
- 2 カンボジアに渡航・滞在される方は、政治情勢が落ち着くまでの間、不測の事態を念頭におきつつ、以下の点に留意され、最新の治安関連情報の収集に努めて下さい。

(1) 外出の際には周囲の状況に十分に注意を払い、集会やデモ行進等に遭遇した場合は近寄らないようにする。

また、状況が緊迫したものになった時には、暫時外出も控える。

(2) 一般的に攻撃の標的となりやすいと思われる場所（政府機関、軍・警察等治安当局施設等）や各政党事務所周辺、及び抗議集会が行われる可能性のある民主の広場（Freedom Park）等にはできる限り近寄らない。

(3) 外出の際には家族、職場や知人等に所在を明らかにしておくとともに、いつでも連絡がとれるようにしておく。

(4) 今次情勢にかかわって、現時点で早急な備蓄（水や食料）の必要性はまだ大きくないと思われるが、途上国に在留する邦人として、常日頃からの備蓄の心掛けは怠らないようにする。

3 何らかの被害に遭われたとき等には当大使館領事班までご連絡ください。

在カンボジア日本国大使館 領事班

電話：023-217161～164

電話交換業務時間：平日午前8時～正午、午後2時～午後5時45分

領事窓口対応時間：平日午前8時～正午、午後2時～午後4時30分

緊急連絡先（平日昼休み）：012-835430

緊急連絡先（平日夜間及び休館日）：016-816911

大使館ホームページ：<http://www.kh.emb-japan.go.jp>

Eメール宛先：[consular.jpn@pp.mofa.go.jp](mailto:consular.jpn@pp.mofa.go.jp)

【お願い：在留届の内容に変更がある場合や帰国の場合には、必ず当館にご連絡下さい。】